

評価事例 9

単 元 名	第6学年 Unit 1 This is me!
単 元 の 目 標	自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなもの、誕生日について、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。 「話すこと [発表] イ」
言 語 活 動	新しく同じ学級になった友達に自分のことを伝えるために、自己紹介カードを作成し、名前や好きなもの、誕生日など伝えたいことを整理して学級の友達に発表する。

評価の進め方

児童は3～5人のグループに分かれ、グループ内で自己紹介を行う。教員とALTは、発表の様子を見ながら分担して評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 月や日付、身の回りのものなどを表す語句や I'm ～. I'm from ～. I like ～. My birthday is ～. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 名前や好きなもの、誕生日について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなもの、誕生日について、伝えようとする内容を整理した上で話している。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなもの、誕生日について、伝えようとする内容を整理した上で話そうとしている。</p>



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	名前や出身地、好きなものや誕生日を話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例（S＝児童，T＝教員）

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
<p>I'm Hiromi. I'm from Natori. I like cats. <u>I have three cats.</u>① <u>Do you like cats?</u>② My birthday is September 28th.</p>	<p>I'm Hiromi. I'm from Natori. I like cats. My birthday is September 28th.</p>	<p>S: I'm Hiromi. I'm from Natori. My birthday is September 28th. ... T: 好きなものはありますか。 S: I like ...</p>
<p>理由 名前や出身地、好きなものや誕生日を話しているだけでなく、①I have three cats.と情報を付け加えたり、②Do you like cats? と聞き手に問い掛けたりして、更に詳しく伝わるように話している。</p>	<p>理由 名前や出身地、好きなものや誕生日を話している。</p>	<p>理由 名前や出身地、誕生日は話しているが、好きなものを話していない。そのため、自分のことが十分に伝わらない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照</p> </div>

指導のポイント

- ・伝える相手を新しく赴任した先生などと設定することで、児童に相手意識を持たせる。
- ・自己紹介カードをポスター形式にして教室に掲示し、学習参観で保護者などに見てもらえるようにすることで、児童の意欲を高めることも考えられる。